

# 「造影 CT における右副腎静脈描出に影響する因子」 研究実施のお知らせ

## 1. 研究の対象となる方

2017年4月1日から2023年3月31日の間に当院で副腎静脈サンプリング前の造影 CT 検査を受けられた患者さん

## 2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ~ 2025年3月31日

## 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2024年10月1日

## 4. 研究の目的

副腎静脈サンプリングは X 線透視下にカテーテルを用いて左右の副腎静脈から血液を採取し、副腎から異常なホルモンの分泌があるかどうかを調べる検査です。左副腎静脈へのアクセスは容易ですが、右副腎静脈はもともと細く形態や分岐に多様性があるため右副腎静脈サンプリングに難渋することが多くあります。そのため検査時間が延長し、X 線被曝の増加につながってしまいます。血管造影検査前に右副腎静脈の走行を造影 CT で評価していますが、細かい構造のためはっきりと確認できないことも多くあります。当院では 2021 年 4 月から従来の 1/4 のサイズの検出器を持つ CT (以下高精細 CT: 検出器のサイズが 0.25 mm<sup>2</sup>、従来は 0.5 mm<sup>2</sup>) が導入され、副腎静脈サンプリング前の造影 CT に用いています。高精細 CT によって従来より右副腎静脈の描出が改善すると期待しているためですが、他の解剖学的因子の影響も大きいのではないかと考えています。これまで右副腎静脈の造影 CT における描出に影響する因子について検討した報告はなく、技術的な因子(検査する側が調整可能)が強いのか、または解剖学的な因子(検査する側は調整できない)が強いのかを知ることは今後の副腎静脈の造影 CT での描出を改善していく上で重要なことと考えています。

## 5. 研究の方法

副腎静脈サンプリング検査を受けた患者さんの電子カルテの情報や造影 CT データを使って、右副腎静脈の描出に影響する因子を検討します。

## 6. 研究に用いる試料・情報の項目

〈対象となる患者さん〉

2017年4月1日から2023年3月31日の間に当院で副腎静脈サンプリング前の造影 CT 検査を受けた 20 歳以上の患者さん。

#### 〈利用する情報・項目〉

- ① 患者基本情報：年齢、性別、体重、身長、診断名
- ② CT 検査及び血管造影検査で得られた画像、CT 装置、撮像条件
- ③ 血液データ：内分泌検査項目

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

#### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

#### 8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 放射線医学講座 森阪裕之

#### 9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

#### 10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

#### 11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、放射線医学講座の研究費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

#### 12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

#### 〈照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先〉

担当者の所属・氏名：山梨大学 放射線医学講座 森阪裕之

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110、Tel 055-273-1111

メールアドレス：morisaka@yamanashi.ac.jp